



Friendship & Exchange

スコットランドの風

第5回『日本スコットランド交流協会』総会開催のお知らせ

5月26日(金)17時からNPO法人日本スコットランド交流協会第5回総会を昨年同様、駐日英国大使館で開催致します。今回の総会もScotlandと日本を繋ぐ各界の方々にゲストとしてお越し頂く予定です。総会に引き続き18時からの懇親会では、JSA会員でクィーンエリザベス2世、天皇御一家への演奏もされた世界最高峰のバグパイパー、Gerald

Muirhead氏のバグパイプ演奏をお楽しみいただけます。また、JSAは“Scotland”をキーワードに年齢、職種、国籍などの枠を超えた様々な経歴をお持ちの会員の方が続々と増えています。是非、この総会を機にJSA会員同士の交流を今まで以上に増やして頂ければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第1回「Scotland DAY in Tokyo 2016」開催される



Gerald Muirhead氏

「Scotland Day in Tokyo 2016」が、11月26日豊島区の東京芸術劇場、特設会場にて開催されました。

午後1時から始まった第一部留学フェア、第2部トーク、第3部ペチャクチャナイト、そして第4部のスコットランドナイトまで、500名を超える参加者で、会場は大盛況となりました。

参加いただいた会員、非会員の方々はもとより、高野豊島区長をはじめ、ブリティッシュカウンシル・ディレクターのマット・バーニー氏、卒業式よりこちらが大事と来たスターリング大学のジェリー・マコーマック学長、国会の合間に駆けつけていただいた当協会顧問の古川参議員議員など数々のゲストをお迎えして、スコティッシュ・サーモンやバラ島のラングスティンなどのスコットランド料理とウイス

キーに舌鼓をうち、最後のケイリー・ダンス、オールドラングザインの合唱まで、時間をオーバーしての熱気溢れるイベントとなりました。この企画に助成協賛していただいたスコットランド政府、スコットランド国際開発庁、それにブリティッシュ・エアウェイズに深甚の感謝の念を、そして、このイベントを支えてくれた多くのJSAスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。今年もまた11月に同会場にて開催されます。



会長挨拶

会長 片桐 宏典



昨年11月26日、「Scotland Day in Tokyo 2016」が東京芸術劇場にて開催されました。スコットランド政府の助成とスコットランド国際開発庁の全面的支援、スコットランド各大学の協力、ブリティッシュ・エアウェイズ協賛を得て、この新しい野心的な企画の輝かしい第一歩を大きく記す事ができました。決して十分とは言えない準備期間ではありましたが、JSA会員の皆様の

多くの献身的なボランティアのおかげで、スコットランドの才気あふれる「現在」を新たな視点で多くの皆様にお伝えできたと自負いた

します。さらに今年2月に来日されたヒスロップ大臣も会場となった豊島区を高野区長と共に見学され、その交流発展の将来性に大きく期待を寄せています。

以前から問題の多かった会員名簿管理も新システムへの移行を無事完了し、ホームページも刷新され、事務局体制の整理などJSAの基本的なインフラは滑らかに整備されつつあります。今年の「SDT」開催への準備も着々と進んでおります。この企画が将来「Day」から「Week」へと発展するよう、我々が希求する交流の喜び、JSAでなければ出来ないこと、今年も数々のイベントを通じて、皆様と共に実現していきたいと思ひます。

2017度日本スコットランド交流協会奨学金のご案内

今年度も2017年2月よりJSAの学術貢献及び人材育成の事業の一つとして大きな役割を担うスコットランド交流協会奨学金の募集が開始されました。本奨学金制度は、国際社会で活躍することが期待されるスコットランドの大学の大学院修士課程に進学する日本人に対し、勉学のサポートを目的としたものです。本奨学金は、2013年に開始され、これまでに5名の優秀な奨学生をスコットランドの大学院に送り出してきました。

今後もスコットランドと日本の友好と交流促進の位置づけとして引き続き奨学金事業を継続してまいりますので、今年度も優秀な方々のご応募をお待ちしています。詳細は下記のウェブサイトを参照ください。(石川晃士) <http://jpn-scot.org/scholarship/>

第1回 Scotland DAY in Tokyo 2016 開催

Scotland Day in Tokyo 開催にあたり



昨年(2016年)、JSAの理事就任を受け、スコットランド・デイ開催に向けた話し合いの場がもたれた折、開催場所の確保が課題でした。そこで、私は以前から関わらせて頂いている東京芸術劇場に手頃なスペースがあることを思い立ち、その会合の帰りに東京芸術劇場に立ち寄り、11月26日の開催日と内容をお話したところ、タイミングよく場所が確保できました。最終的には「東京芸術劇場(以下、芸劇)」からの後援も頂くことができ、知名度と交通アクセスの良さから当日は500人を超える来場者がありました。第1回開催としては大成功だったかと思います。また今年の2月12日には、スコットランド政府のフィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係大臣が、当協会名誉会員であるスティーブン・ペーカー博士のはからいで芸劇に視察にこられ、昨年のスコットランド・デイのチラシを手に嬉しそうにされていたのが印象的でした。この昨年の好評を受け、今年も芸劇のスペースを確保することができました。昨年よりさらに

ブラッシュアップしたスコットランド・デイが期待されます。また芸劇に隣接した西口公園も、2019年までには大規模なリニューアルが予定され、芸劇と一体となった空間利用も期待されます。今後は芸劇でのスコットランド・デイを継続し、スコットランドの様々な文化や経済、人的交流の輪を、東京から全国へ、さらに世界に向けて発信する広がりが増えていただければと願っております。(上門 周二)



SDT 第1部：留学フェア

スコットランドの大学が参加する留学フェアが開催されました。会場では、各大学毎にブースを設け、スコットランドからこの日の留学フェアのために来日した大学の担当者、在学中の学生や卒業生がブースに座り、来場した留学希望の学生や保護者の方々の質問に親身に答える姿が見受けられました。フェアの最初では、来日した各大学担当者からステージ上で約10分程度の大学PRを兼ねたプレゼンテーションが英語で行われ、住環境を含めた大学生活の様子や授業の指導風景などを動画で説明。個性あふれる各大学の特徴や施設、HPよりも最新の情報が伝えられました。(齊藤 七生)

参加校

エジンバラ大学 / グラスゴー大学 / グラスゴー美術学校 / セント・アンドリュース大学
スターリング大学 / ハイランド・アンド・アイランド大学 / ロバート・ゴードン大学



留学フェア会場

SDT 第2部：講演&トーク

Scotland Day 第2部「講演&トーク」では2名の講師の方から興味深いお話をいただきました。いずれも、両国の真の交流に触れる内容で、会場の100脚の椅子では間に合わず、立ち見が出るほどの盛況でした。(関 妙子)

ニッカウISKリー創業者竹鶴政孝・リタ夫妻の孫、竹鶴孝太郎氏は、「竹鶴とリタ」という題で、貴重な所蔵の写真を映しながら、国際結婚が稀であった時代に、リタさんが政孝氏の愛情に包まれ懸命に日本の文化・社会に溶け込む努力をされたこと、自宅でも常に服装を整え、きちんとしたしつけをする方であったこと第2次世界大戦では母国が敵国となったことで苦しめたことなど家族だからこそ分かる貴重なお話をされました。BBCの放送通訳や科学ジャーナリストとしてロンドンで活躍中の清水健氏は、「明治日本とスコットランドの技術交流」という題で、Scotland技術者たちの明治の近代化への貢献について講演されるとともに同時期に日本人がScotlandに技術貢献した例としてフォース鉄橋の建設に参加し20ポンド紙幣に写真が載っている渡辺嘉一氏を紹介されました。



竹鶴 孝太郎氏



清水 健氏

SDT 第3部：powered by ペチャクチャナイト on Scotland



第3部は「Powered by ペチャクチャナイト on Scotland」と題して、9人のスピーカーにプレゼンテーションしてもらいました。「ペチャクチャナイト」とは20枚の画像を映しながら、それぞれについて20秒ずつ話すスタイルのプレゼンテーションです。日本人、スコットランド人、イングランド人からスコットランドについて写真・法律・スポーツ・デザイン・産業・彫刻・マーメイド・教育・ウイスキーについてと、様々なテーマで日本語/英語によるプレゼンテーションが行われました。6分間という限られた時間の中で、発表者誰もが自身のスコットランドとの深い縁と、スコットランドへの愛を語ってくれました。観客にとっても、次々とテーマが変わりあつという間の1時間半となりました。(荒井 健太郎)



ジェリー・マコーマック
スターリング大学学長



村松 正氏



ケイト・トムソン理事

- ・佐藤悠 (写真家) 「レンズ越しのスコットランド」
- ・三雲崇正 (弁護士) 「日本の法律家から見たスコットランド」
- ・島中康二 (電通) 「留学を通して体験したエリートスポーツ・ラグビー」
- ・関妙子 (スターリング大学名誉博士) 「マッキントッシュの椅子」
- ・スティーブン・ペーカー (Dr. Stephen Baker: SDI駐日代表) 「日本とスコットランドの現在」
- ・ケイト・トムソン (Kate Thomson: 彫刻家) 「スコットランドの現代アート」
- ・村松正 (ひなたカフェ、ジャム製造販売) 「マーメイドの魅力」
- ・ジェリー・マコーマック (Prof. Gerry McCormac: スターリング大学学長) 「教育への取り組み - スコットランドの大胆なアプローチ」
- ・リチャード・ドーソン (Richard Dawson: ワイン販売) 「スコットランドを飲む / ウイスキー、ビール、ジン etc」



SDT 第4部：スコットランド・ナイト

第4部のスコットランド・ナイトはJSA顧問 古川参議院議員、高野豊島区長、スティーブン・ベーカーJSA大使からご挨拶をいただきスタートしました。Gerald Muirhead氏のバグパイプ演奏はいつまでも胸の奥に残る音色でした。Richard Dawson氏によるスコッチ・ウイスキー・マスタークラスはスコットランド各地のスコッチが楽しめました。ケイリーダンスの指導のためスコットランドから初来日されたDavid Vianco氏の熱の入った指導を受け、最初はステップに戸惑いながらも次第にパートナーと息が合うようになり最後には参加者全員がケイリーダンスを楽しんでいました。(飯村 英人)



Dr. Stephen Baker氏



高野之夫豊島区長



佐藤悠氏 スコットランド情景写真展



David Vianco氏



Richard Dawson氏とウイスキーマスタークラス



フィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係大臣来日

2月12日から17日にかけてスコットランド政府のフィオナ・ヒスロップ(Fiona Hyslop)文化・観光・対外関係大臣が来日されました。来日中には昨年11月にJSA主催で催されたScotland Day in Tokyo 2016の会場、東京芸術劇場(豊島区)やスコットランドとの関係が強い地域や企業を訪問なさいました。また、著名な建築家、隈健吾氏による設計された豊島区庁舎も訪問、隈氏が現在スコットランドのダンディー市に建設中の美術館にも話が及び、さらに文化事業に重点を置いている豊島区が現在建設中の文化施設、劇場などを視察なさいました。この訪問で大臣は、今後のJSAによ

るScotland Dayの発展を確信され、スコットランドが豊島区を中心に文化的な交流を強く推し進める方向を示唆し、大変有意義な一日だったとの感想を述べられました。

2月13日、ヒスロップ大臣来日にともない、駐日英国大使館公邸にてポール・マデン英国大使、SDIスティーブン・ベーカー日本駐在代表主催のレセプションが行われました。大臣から、Scotlandと日本の様々な分野での交流の現状、さらに未来についての示唆に富むSpeechがありました。

(関 妙子)



東としま未来文化財団事務局長、小澤豊島区文化商工部長、高橋としま未来文化財団みらい文化課長 関名誉顧問、上門理事、高野豊島区長、ヒスロップ大臣、鈴木東京芸術劇場事業企画課長 片桐会長、ベーカーSDI駐日代表



ブレナー理事、甘粕氏、上門理事、片桐会長、マデン英国大使、トムソン理事、関名誉顧問

新役員挨拶

齊藤七生理事/副会長が昨年12月をもって辞任されたので、以下のとおり平成29年1月に人事変更がありました。

加藤 秀 (理事)

この度、理事に就任致しました加藤です。昨年リニューアルしましたホームページ運用や会員サイト等のIT関連を担当します。より良い情報発信と皆様の快適なWEB利用に努めて参ります。よろしくお願ひ致します。

荒井 健太郎 (理事)

この度、理事に就任いたしました荒井健太郎です。JSAが任意団体として設立した当初から事務局メンバーとして参画しておりました。本業はITコンサルですので、JSAでもITによる効率的な経営を目指したいと考えています。

光 恵子 (監事)

この度、JSAの監事に就任致しました光恵子です。2014年、2016年とスターリング大学のJapan Week, Calligraphy Workshopでスコットランドの皆様と書道を楽しむ指導をさせていただきました。皆様、よろしくお願ひいたします。

Japan Week 2017開催

今年で5回目を迎えたJapan Weekが2月19日から23日にかけてスターリング大学で開催されました。現地の様子をスターリング大学の石川教子先生と現在留学中の学生さん方に報告していただきました。JSAは後援団体としてJapan Weekをサポートしています。

1日目 2月20日

Japan Week 初日には、スターリング大学の石川教子先生による日本語講座、学生や地元の人がモデルを務めての着物ファッションショー、そしてEdinburgh Quartetによるコンサートが開かれました。

日本語講座には、地元の高校生から定年退職された方まで幅広い年齢層の市民が参加していました。授業内容は日本語での自己紹介と挨拶。

サポート役の日本人学生とのペアワークでは、質問や会話が飛び交い、その日一番の盛り上がりを見せました（今回のJapan Weekでは、スターリング大学の春期語学コースに参加中の跡見学園女子大学、早稲田大学、京都大学、宮崎公立大学の学生がサポートに回っています）。夕方に開催された着物ファッションショーでは、様々な国籍の人々が着物をまとい、ランウェイを歩きました。Edinburgh Quartetによるコンサートでは聴衆がバイオリンの奏でる音色に聞き入っていました。このJapan Weekには市民・学生ともに異文化交流を求めている参加が多く、開催されるイベントは両者を繋ぎ、親睦を深めるきっかけとなっていたと感じました。（岩田穂）



着物ファッションショー



着物ファッションショー



日本語クラス（学生アシスタントと会話をする参加者と机間指導中の石川氏）

2日目 2月21日

21日には「Study in Japan」と「The Zen Way」の二つの講演、日本刺繍・折り紙のワークショップ、茶会、日本酒の紹介と試飲会が開かれました。

講演「Study in Japan」では、山梨学院大学国際リベラルアーツ学部のマイケル・ラクトリン初代学部長が同大学のリベラルアーツ教育について、そして青森公立大学の香取薫学長が青森県、青森公立大学について、お話しになりました。

日本刺繍のワークショップでは木村久美子先生が直々に刺繍を指導し、日本刺繍の由来についてご説明なさいました。折り紙のワークショップでは日本人学生と参加者が一緒に折り紙に熱中しました。夕方には在エディンバラ日本国総領事館の松永大介総領事による禅の講演会（『The Zen Way』）が行われました。講演会には跡見学園女子大学の山田徹雄学長もご出席なさっていました。21日はJapan Weekの中で特に催し物の多い一日でした。より多くのスコットランドの人に日本文化を身近に感じてもらえたと思います。（岡本侑里南）



折り紙ワークショップ



茶会



刺繍ワークショップ



松永総領事



山梨学院大学 ラクトリン教授



日本酒紹介講演

3日目 2月22日

3日目は空手と琴の披露、書道と漫画の体験会、そして今回の基調講演「Cultivation Humanity in Japan Through the Liberal Arts」が開催されました。空手と琴は圧巻の一言。漫画講座は昔ながらの日本の手描きの技術を参加者に片桐絵美理氏が伝授しました。基調講演では、山梨学院大学国際リベラルアーツ学部のマイケル・ラクトリン初代学部長が今後の社会で必要となるリベラルアーツについてAIを例に取り、詳しくご説明なさいました。続いて跡見学園女子大学の山田徹雄学長と東洋英和女学院大学の池田明史学長がご登壇。最後の質疑応答では松永大介総領事もご質問に立たれ、聴衆も交えた素晴らしい議論が行われました。3年先でさえ予測のつかないグローバル化社会を生き抜き、世界を牽引する人材となるために、物事を多角的な視点から見る力、AIを通じて人間のあるべき姿とは何なのかという根源的な問いをもち続けることが最も重要だと考えさせられました。(福田修斗)



書道(『自信・航海・太陽』という文字を練習中)



書道(自分の名前を漢字にして マシュー=真飛宇)



刺繍ワークショップ(木村先生実演)



写真提供: スターリング大学

木村氏 山田学長 Gerry McCormac学長 Leigh Sparks教授
池田学長 Eileen Schofield氏 松永総領事 ラクトリン教授 赤澤氏



茶会

スコットランドから来訪された方

スターリング大学のGerry McCormac学長と同大学のUniversity Secretary & Office Manager のEileen Schofield氏が11月24日から27日来日、滞在されました。来日中、日本での提携大学を訪問25日にはスターリング大学の同窓会に出席、26日にはJSA主催のScotland Dayに参加、McCormac学長は、第3部のペチャクチャでスコットランドの教育の現状、未来について話され、引き続き行われたReceptionではゲストとしてSpeechをされました。慌ただし滞在中でしたが、JSAの5月26日の総会のためにも再び来日される予定です。(関妙子)



Eileen Schofield氏 Gerry McCormac学長 関名誉顧問

2月4日、関内KAAT神奈川芸術劇場で、スコットランドグラスゴー在住のクリア・カニンガムさんのダンス公演が開かれました。脚に障害のあるカニンガムさんの松葉杖を使ったダンスは、オランダの作家ヒエロニムス・ボスの画よりインスピレーションを得た、メッセージ性の高い内容でした。いつの時代でも、障害のある方、難民の人々にしわ寄せが先に来るといふ理不尽さを、肉体によって美しく力強く表現されていました。「同情が共感に変わってほしい」というご本人の言葉に深く考えさせられました。(光恵子)



光監事 クリア・カニンガム氏

支部活動報告

JSA

東京

Scottish Kitchen 12月10日

会員紹介 Sean Michael Wilson氏

スコットランド風クリスマス料理 講師：種子田敦子（フィドル奏者）
メインは大きなローストチキン。あらかじめマリネしておいた大きなチキンのお腹の中に甘栗、スタフリングボール（小さなコロッケ）など丸い形のをギュウギュウと押し込み、ベーコンをチキンの上に覆い被せ、200度のオーブンで1~2時間焼きます。ルビーワインソースも市販のクランベリージャムなどを使うことによって本格的なソースを楽しめます。デザートは種子田さんが自宅から持っていらしたミンスミートパイとクリスマスブディングでした。ミンスミートパイはなかなか日本では売っていないようですが、手作りの上品なお菓子でした。その他、ゲームスープを作り、一足早いクリスマスを楽しませていただきました。



種子田氏（中央）を囲んで



ローストチキン

JSAの会員のSean Michael Wilson氏が、Scotland 人として初めて国際漫画賞を受賞されました。

"Hello JSA members – I am a comic book/manga writer from Edinburgh who lives in Kumamoto. I am the only Scottish (or British) professional comic book writer living in Japan. I've had many books published with a variety of US, UK and Japanese publishers, such as The Book of Five Rings and The 47 Ronin. In Feb 2017 our book Secrets of the Ninja won an International Manga Award 国際漫画賞 from the Japanese Ministry of Foreign Affairs 外務省 - the first time a British person has received this award."



Sean Michael Wilson氏



外務大臣からの症状

英会話 10月8日

日時：2016.10.8 17:00~18:30 場所：JSA東京本部 新宿区下落合

今回のテーマは "Religion" What do you know about

【Christianity, Islam, Shinto, Buddhism, Hinduism, Judaism】

【beliefs, holy place, holy people, customs, rules, countries】？

まずは私たちの意識として、寺院にどのくらい行くのか、信仰する宗教はあるのか、どのように勉強したのかといった質問でした。

世界には様々な宗教があり、それぞれに信仰をはじめ習慣や規則などがありますが、私たち日本人は世代によっては無神教の方々も多くなっています。それは何故なのか、いつからそうなったのかという先生からの問いには、怖いというイメージがある、良いイメージがあまりないなどマイナスイメージが強いと言う意見が多く上がりました。2020年に東京オリンピックを控え訪日外国人も増えてきた近年、私た



Darren Craig先生（中央）を囲んで

ち日本人には宗教をある程度理解し許容できる寛容さが必要になってくるのではないのでしょうか。

JSA

中部

Burn's Supper 1月28日

The Chubu Branch of the JSA held a Burn's Supper at the Hilton Nagoya Hotel on January 28th. Gerry McLellan, head of the Chubu Branch, addressed the haggis and delivered a power point presentation on the life and times of Robert Burns. There were addresses to the laddies and lassies, as well as presentations on Burns' poems and songs. Nana Inoue sang 'Red, Red Rose' and prizes were awarded for the winning quiz team. The menu included Scotch Broth, Haggis and Cranachan, and the Hilton GM, Felix Busch, prepared a small whisky tasting. The mayor of Nagoya sent a personalised message and the event was publicised in newspapers in Scotland and in the Burns federation international newsletter. The event was well received and all participants have expressed a desire to attend next year. Gerry is now working on a Scottish Games event as part of the American Chamber of Commerce's charity event, Kansai Walk-A-Thon, which will be held in Nagoya in May. (Gerry McLellan)

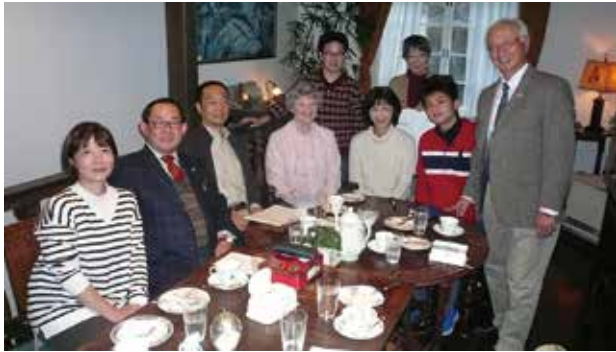


中央 Gerry McLellan支部長

JSA 関西

英会話教室 9月10日、1月14日

モード・ラムゼイさんを講師に、宝塚のカフェ「ハッセルハウス」で、コーヒーとケーキを楽しみながら、英会話と共に文化や習慣の違いなども学んでいる。9月は7名、1月は8名が参加した。



モード先生(左から4番目)を囲んで

JSAウイスキー倶楽部 10月29日、11月12日、3月18日

10月は芦屋のMAIN BARで参加者10名、テーマは「樽による風味の違いを楽しもう!」で開催した。11月は愛知県のサントリー傘下のサングレイン知多蒸溜所を16名で訪問した。関西のみならず関東や中京からの参加者も交えて、なかなか見る機会が少ない連続式蒸留器でグリーンウイスキーが製造される様を感激しながら見学した。3月は「ウイスキーのブレンドとキーモルト」をテーマで「ハッセルハウス」で開催。



MAIN BARIにて

JSA 東北

講演 10月29日

2016年10月29日、英国スターリング大学からJSA会員でもあるDr. Benneth O.I. Esiana 氏を基調講演者として招聘し、地域文化教育学会 (AREC) 設立5周年記念第6回全国大会を開催しました。「Soil - a 'Finite' Resource」というタ



Dr. Benneth O.I. Esiana 氏

イトルのもと、氏の研究テーマである「土壌」(soil) についての経時的かつ共時的意義と問題点、将来の展望とあるべき姿などに関して御講演いただきました。経済格差など「格差」が、世界的社会問題として、しばしばとりあげられていますが、富の格差と土地(soil)の格差が連鎖していく社会の可能性について考えさせられる充実した内容でした。(香取真理)

料理教室 10月16日、12月4日

春夏秋冬のスコットランド料理をモード・ラムゼイさんのアドバイスを適宜受けながら、英語レシピを見つつ自分たちで作るというスタイル。10月はSavoury Pork Chops、12月はVenison with Applesが主菜でそれぞれ前菜とデザートも含めて料理を楽しんでいる。10月は16名、12月は18名が参加した。



Venison with Apples



Savoury Pork Chops



サングレイン知多蒸溜所を見学

関西支部の今後の活動予定

- 4月2日(日) 関西ハイランドゲームズ参加
- 4月16日(日) スコットランド料理教室・春の料理
- 5月13日(土) 英会話教室 「ハッセルハウス」
- 6月24日(土) アフタヌーンティーの集い
砂古玉緒さん(英国菓子研究家) 講演会
- 7月4日(日) スコットランド料理教室・夏の料理



Japan Week 2月21日



香取支部長

2017年2月21日、スターリング大学にて開催された'Japan Week' でJSA東北支部長 香取薫(青森公立大学学長)氏が

「Aomori: an Ideal Location to Learn Management and Economics」というタイトル

で基調講演を行いました(英語による)。日本のスコットランドともいえる東北地方、JSA東北支部事務局がある青森市、そして青森公立大学の特徴と地域における役割などについて、統計や写真、ユーモアなどを交えながら講演し、盛況裏に終えることができました。会場には、多くの学生、大学院生、大学関係者、留学生が足を運んでくれました。(香取真理)

Dementia Friendly Community スコットランド・日本の協力

スコットランド国際開発庁Senior Executiveの松枝晃氏が中心になって進めてきたScotland, Stirling 大学と東京都健康長寿医療センターとの認知症対策での協力が合意に至りました。松枝氏からのコメントです。

認知症対策は長寿社会の大きな課題ですが、日本では認知症当事者を社会がどの様に受け入れるかが大きな課題となっています。一方スコットランドは、その分野では世界でも優れた取り組みがされています。この様な中、2月13日からスターリング大学のLouise McCabe博士とNHSのStephen Lithgow氏が、栗田圭一先生を中心とする東京都健康長寿医療センター (TMGHIG) の招きで来日しました。認知症の人々に優しい社会・Dementia Friendly Communityの実現に向けて協力すると言う覚書が、フィオナ・ヒスロップ大臣立ち会いのもとスターリング大とTMGHIG間で締結され、またスターリング大学の認知症書籍もTMGHIGの協力で出版される運びとなりました。15日の英国大使館でのセミナーでは、認知症当事者の丹野智文さんから「認知症とともに生きる」という力強いメッセージがありました。これはスコットランドの当事者との交流を通して確信されたもので、日本とスコットランドの繋がりを象徴するものとなりました。



関名誉顧問、Dr. Loiuise McCabe氏、松枝氏

スコットランド教育関係者グループ招へい事業

国際交流基金の日本事業部がスコットランド各地から教育関係者を招待しました。国際交流基金 杉崎愛氏のコメントです。

国際交流基金は、外国語として日本語を教えることに関心を持つスコットランド各地の教育関係者20名を、2017年2月12日～18日の日程で日本にお招きしました。一行は、同じ週に来日したスコットランド政府のフィオナ・ヒスロップ文化・観光・対外関係相と東京で面会する機会に恵まれ、大臣から日本語教育実施に向けた取組みに期待の言葉を頂きました。滞在中、日本スコットランド交流協会の関名誉顧問をはじめとする学識者との意見交換や都内小学校訪問のほか、オークニー諸島と交流のある岩手県立釜石高等学校へ足を伸ばし、高校生との交流を深めました。釜石市では鶴住居地区も訪れ、建設中の学校や2019年ラグビーワールドカップの会場を視察しました。子供たちの将来に夢を与え、震災からの復興に向けて着実に歩を進める様子に、一行は感銘を受けておりました。「日本をより身近に感じられるようになった。日本の教育の素晴らしさを伝えていきたい」との温かなコメントも頂いており、今後、スコットランドとの交流が様々なかたちで広がっていくことを祈念いたしております。



ヒスロップ文化・観光・対外関係相とのご面会の場にて

お知らせ JSAの会員の方にこの夏の魅力的なSCOTLANDでの英語研修旅行へのお誘い 「スターリング大学夏期英語研修(4週間：2017年8月7日～9月1日) 5月末締め切り」

4週間の英語コースで英語の習得を目指したい方、どうぞご参加ください!

EUで最も美しいと言われるスターリング大学でCampus Lifeを楽しんでください。Campus 内に9ホールGolf Course、Swimming Pool、テニスコートなどがあり、スポーツ設備も充実しています。

16歳以上であればどなたでもご参加頂けます。

*英語コース：上級、中級、初級とレベルに併せて参加できるため、英語能力は問いません。カリキュラムには、週末のエディンバラ・グラスゴー(一日)観光、ネス湖(一泊)旅行、スコットランドダンスパーティー等も含まれています。

*寮：すべて個室で、各部屋バス・トイレ付、キッチン共有で自炊です。

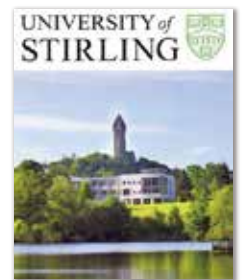
*費用：約2,500ポンド 学費、寮費、週末旅行(ネス湖1泊も含め)、その他のEVENT代すべて含です。

Flight代と食事(自炊で、1週間3食で5000円～6000円程です)は別途支払いが必要です。

興味のある方は気軽に下記までご連絡ください。会員のご家族、ご友人方もご参加いただけます。2～3週間の参加も可能です。

関妙子 (Stirling University, Honorary Doctor) 〒161-0033新宿区下落合3-12-28-1401 TEL/FAX 03-5988-8785

携帯090-7192-4650 E-mail: taeko.seki@gmail.com 締切: 5月末



編集後記

Scotland Dayで興味深かったことは、Scotland Dayの隣のホールで催されていた落語を聞きにきていた若いカップルの女性が「スコットランド?面白そう。見ていこうよ」と入ってきてくれたことです。今年のSDTの目標が見えた瞬間だったかもしれません(飯村英人)



NPO法人

日本スコットランド交流協会

The Japan Scotland Association



東京本部 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-28-1401 Tel & Fax: 03-5988-8785 E-mail: info@jpn-scot.com

Tokyo Headquarters: 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033, JAPAN Tel & Fax: +81 (3) 5988-8785

東北支部 〒030-0196 青森県青森市合子沢山崎153-4 青森公立大学 香取真理研究室内

Tohoku Branch: % Prof. Mari Katori's office, Aomori Public University, 153-4 Yamazaki, Goshizawa, Aomori-shi, Aomori 030-0196, JAPAN

中部支部 〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石2-709 Chubu Branch: 2-709 Inokoishi, Meito-ku, Nagoya-shi, Aichi 465-0021, JAPAN

関西支部 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町2丁目5-3-906 Kansai Branch: 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082, JAPAN

九州支部 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島2-23-2 Kyushu Branch: 2-23-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032, JAPAN

0161018-2000-ND